



年頭のご挨拶



院長
樋口 次男



～なでしこらむ～

この写真は、当院に通院されている患者さんの新井利雄さんが撮影されたものです。新井さんは、ダムと花の写真をお撮りになっていて今回は新春号にふさわしいものということでご提供いただきました。

写真がご趣味の患者さん、ぜひ1階地域連携室までご連絡ください。

政治の混迷が続く中、医療の先行きが全く不透明な状況下での新年のスタートとなりました。4月に予定されている診療報酬改定に向け、一部に楽観論もあるようですが、一般病床として存続して行くためには、更に厳しい条件が求められることが予測されます。

この様な厳しい環境の中にあっても、医療に対する安全と質の向上は常に求められており、我々医療に携わる者は当然のことながらこれに responding していかなければなりません。

20世紀はあらゆる分野で科学技術が発展を遂げ人々はその恩恵を受けて来ました。特筆すべきはコンピュータの発達ではないでしょうか。わが国に於いても近年の経済至上主義の中でその振興策と一体化して“IT革命”などという言葉がもてはやされてきました。キーボード一つによってあらゆる分野でコミュニケーションが可能となり、ビジネスのみでなく一般生活までもがスピード化しその利便を享受してきた一方、忙しさの中で大切なものが忘れかけられようとしていることも事実です。ネット社会での会話の無いやりとりは人と人との繋がりを希薄にかつ無機質なものであるとしており、近年頻発する無差別、無目的な殺傷事件などこうした結果と無関係とは思えません。

医療の分野に於いても、例えば医師や看護師等も資格を取得するためには以前に比べ数倍にも当たる知識が要求されそしてこの先進的な知識を得ることさえ出来れば現代医学に則した医療人が出来上がることになりませんが、果たしてそれだけで完成された医療人と言

えるでしょうか。過酷なまでの労働条件の中にあってもなお私達に求められているものはただ単に先進的医療を行うことのみでなく、患者さんとの会話を通じての心と心の繋がりでないでしょうか。インフォームドコンセントは現在ではこれを行わない側に対してその非が問われるのが常識となっていますが、検査結果や過去のデータから“あと6カ月の命だ”“これ以上病院でやることはしない”などと断定的に告げることで果たして良いのでしょうか。アメリカの予防医学の第一人者であるアンドルー・ワイル医師も“言葉の持つ力”についての重要性に言及して医学部のカリキュラムのなかにその学習を取り入れるべきであると強く主張しています。その場凌ぎの慰めの言葉ではなく“^{かんてん}旱天の^{じゅう}慈雨”となるような心のケアの重さも皆で再認識しつつ、新しい年の出発にしたいと思います。



～群馬県済生会前橋病院の理念と基本方針～

理念

愛と希望

基本方針

- 一、私たちは、患者さんに公正な医療を提供します。
- 一、私たちは、患者さんの人格・意志を尊重します。
- 一、私たちは、医療の質の向上をめざし、常に努力します。
- 一、私たちは、地域社会の要望に対応した医療・福祉の充実をはかります。
- 一、私たちは、互いに信頼し、感謝する心で仕事に取り組みます。

笑いのすすめ



笑い療法士は病気に立ち向かう
お手伝いをします。

笑い療法士〈3級〉
腎臓内科部長
河合 弘進

私自身が落ち込み悩んでいるときに会ったのが
笑い療法士（癒しの環境研究会認定）です。厳しい
書類審査、講習、レポートを経て認定されました。
認定後気分の落ち込みは少なくなり、とても元気に
過ごせるようになりました。

思い通りにならない人生。病気になることはその
中でも最大なものと思います。でも、病気を受け入
れることが出来れば、たとえ限られた日々でも楽し
く過ごすことができる。素晴らしいと思いませんか。
私の周りの元気で長く透析を受けている方々がそう
です。皆さん実に明るく前向きな心をもって生きて
いる。決して病気を憎んだりせず、感謝して治療を
うけている。とても感動しました。同じ生きるなら
しかめっつらで生きるよりも楽しく笑って生きるほ
うがいいと思いませんか（笑い療法士の言葉より）



「**笑いをもって自己治癒力を高めることをサポ
ートする人**」というのが笑い療法士の定義です。従っ
て安心して笑えることが基本ですから、身体的欠点
や病気をはじめ、いじめをネタにするような笑いは
禁止です。

病気と付き合うためには、気のもちようがとても
大切だと思います。患者さんの立場になって話を聴
き、共感し、同じような気持ちになって病気に立ち
向かうお手伝いをする。そうすると自然に前向きに
なり、笑いも出てくる。私はそのようなお手伝いが
出来る笑い療法士をめざしたいと思います。そして
笑いの伝道師として自分の周りの方から笑いの輪を
広めていこうと思います。もちろん、健康な方が笑
いで一層元気になることも大歓迎です。

皆様もご一緒にいかがですか。関心のある方は是
非御連絡ください。「**1日5回笑って1日5回感動
する！**」

〈詳しくは癒しの環境研究会ホームページ
<http://www.jshe.gr.jp/>〉



忘年会でも大活躍！

～お知らせ～

多くの皆様の参加を
お待ちしております

☆腎臓病講演会 予定 2008年3月8日(土)
当院腎臓内科部長 菅医師による講演です。

咳エチケット



院内感染対策委員（検査科）

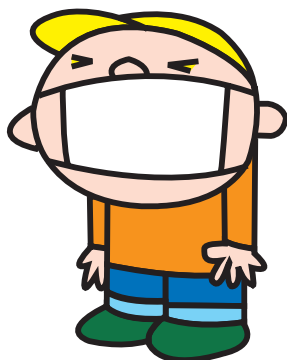
高瀬 麻由美



自分自身への感染を防ぐだけではなく、他の人へも病原体を感染させないエチケットです。

1. 咳エチケットとは

「咳エチケット」とは、咳のときに飛び散る痰や唾によって感染する病原体を患者さん自身によって防止する方策です。代表的なものとしてインフルエンザがあります。これは2004年に米国の疾病対策センターが呼吸器感染症の拡大を防ぐため、医療機関に対して勧告したもので、わが国でも紹介されるようになり、多くの医療機関で実施されています。咳やくしゃみをする時に、痰や唾が周囲の人にかからないようにすることは、エチケットとして当然のことであり、多くの人は自然に身につけているマナーです。ひとりひとりのマナーで感染の拡大を防止することができます。特に多くの人が集まる医療機関を受診される場合、「咳エチケット」に対するご理解とご協力をお願いします。



2. 咳・くしゃみをした時は口と鼻を被いましょう

咳やくしゃみが出る時はティッシュで口と鼻を被ってください。咳が強い場合はマスクをつけることが効果的です。医療機関だけでなく、人が多く集

まる場所や職場でも、同様のエチケットを心がけてください。ハンカチは何度も使うことで手を汚しますので、できるだけ使い捨てのできるティッシュやマスクが理想的です。



3. 使用したティッシュはゴミ箱に捨て、 その後はよく手を洗いましょう

痰や唾で汚れたティッシュは使用した後は近くのゴミ箱に捨ててください。また、病原体はティッシュを通り抜けて手に付いてしまいます。ティッシュをゴミ箱に捨てた後は、よく手洗いをして下さい。手洗い場がない時はウェットティッシュで手をきれいに拭くのも効果的です。



4. 医師や看護師もマスクを つけさせていただきます

インフルエンザのシーズンは、医師や看護師もマスクをつけさせてもらうことがあります。患者さんによっては不快に感じる方もいるかと思いますが、これは大変大切なことです。もし、医師や看護師がインフルエンザに罹って休業してしまうと地域の医療体制が崩れて地域の住民の方々が困ります。また、インフルエンザに罹ったのに気が付かず医療や看護を続けた結果、病院を受診した多くの患者さんに気がつかないうちにインフルエンザをうつしてしまうことがあるからです。医療従事者がマスクをするのは、自分自身への感染を防ぐだけではなく、他の人へも病原体を感染させないエチケットです。



肝臓のラジオ波^{しょうしゃく}焼灼療法



消化器内科部長

矢田 豊



近年、肝臓に積極的に施行されているラジオ波焼灼療法（ラジオ波治療）をご紹介します。

ラジオ波焼灼療法（ラジオ波治療）とは、近年、肝臓に積極的に施行されている治療法です。実際の方法は超音波（エコー）で観察しながら癌に針状の電極を刺し、針につながれた機械のスイッチを入れると針先から3cmの範囲に熱（70℃程度）が伝わり癌を死滅させるものです。肝臓の治療には、他にも外科的切除、肝動脈塞栓術、化学療法などがありますが、ラジオ波治療が注目されるには理由があります。肝臓は多くの場合、C型肝炎やB型肝炎などウイルス性の慢性肝炎や肝硬変から生じ、健康な肝臓から発生することは稀です。つまり、癌が生じた肝臓はすでに元気がないことが多く、治療することでかえって肝臓の働きを弱めてしまうことがあります。



ます。また、肝臓は再発率が高く、一度根治的な治療がなされても、5年以内に約80%の方に新たな肝臓が発見されます。すなわち、元々の肝臓が元気でない上、再発率が高く、繰り返し治療を受けることが多いため、肝臓に優しく、かつ根治性の高いラジオ波治療が注目されているわけです。

ラジオ波治療は日本では1999年より導入され、現在では全国で約1400の施設で行われていますが、施設により方法や治療成績に差があることも指摘されています。済生会前橋病院には昨年8月、ラジオ波治療を行うためのラジオ波治療室が新装され、また、より確実なラジオ波治療を目的としてCT画像とエコー画像を対比できる最新型の超音波装置も新たに導入しました。全国的にもこうしたラジオ波治療専用設備を有する病院は少なく、より安全で確実な肝臓治療を行うべく、スタッフ一同協力して診療にあたっています。

肝臓病は慢性肝炎から肝硬変、肝臓へと進行することが多く、慢性肝炎や肝硬変の治療は、すなわち肝臓の予防にも繋がります。また、定期的にエコー、CT等で検査することで肝臓の早期発見も可能となります。肝臓はもちろん、肝臓に関し何かご心配な点などありましたら、お気軽に当院へご相談ください。

「院内暴力は許さない」

最近、医療機関内での患者さんから医療従事者に対して、また患者さんから患者さんに対しての暴力事件がニュースでも多く報道されています。これらは「院内暴力」といわれています。当院でも院内暴力について（身体暴力のみでなく、暴言、セクシャルハラスメント、ストーカー行為など）あらためて調査しましたところ、かなりの数の報告がありました。

「医療安全管理委員会」では、院内暴力は医療活

動に支障をきたすものと考え、「院内暴力は許さない」を合言葉に、院内暴力の追放に努めることにしました。院内暴力があった場合には、警察署に通報すること、刑事告訴、立ち入り禁止の仮処分申請を行うこともありますので、利用者の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

なお、このことについてはポスターを製作し院内に掲示しました。

病理検査とは



細胞レベルの‘かたち’の異状を観察することで、病気の分類や原因の探求を行い、診断や治療に役立てています。

検査科副科長兼病理担当部長

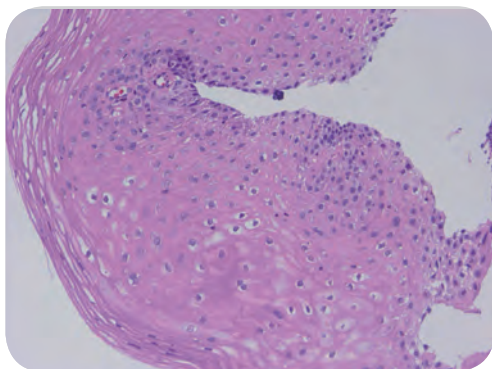
柏原 賢治



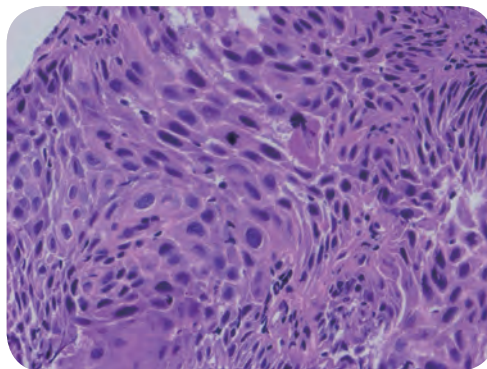
ヒトのからだは、生物の最小単位である細胞が集めた組織、更にそれらが結集した器管でできています。病気になると、これらの部分に、健康な時とは異なる‘かたち’の変化が生じます。顕微鏡の発明以来、細胞レベルの‘かたち’の異状を観察することで、病気の分類や原因の探求を行い、診断や治療に役立てることが医学では行われています。

これが病理学、病理診断であります。特に、がんなど腫瘍（腫れ物）の診断は組織検査によらねばなりません。内視鏡検査、痰の検査、乳房のしこりに対する試験的切除等で採取された細胞や組織を顕微鏡で見えるように加工、観察して、それが良性なのか、悪性の、すぐに治療を要する類のものなのか、判明するのです。また、腫瘍以外の病気でも、病変の病理学的な所見に基づいて治療が行われます。この標本作製を担当しているのが、細胞検査士の資格を持った検査技師であり、それを観察し、医学的判断を行っているのは病理医です。ともに専門的な技術知識を備え、更に熟練を要するプロフェッショナルとして、病院の縁の下での力持ちを自任しています。

当病理検査室では、患者の皆さんの検体を確実に標本にし、速やかに診断結果をフィードバックするよう心がけています。



正常食道上皮



早期食道扁平上皮癌

骨粗しょう症相談会開催報告

2007年10月20日、『骨粗しょう症相談会』を開催いたしました。これは、地域の皆さんに身近な病気のことを知っていただいたり、健康管理に役立てていただこうと毎年テーマを変えて実施しているもので、今回は整形外科部長の後藤医師の講演、医

師をはじめとする各職種の職員による相談、理学療法士による体操指導を行いました。約90名の方が来場され、熱心に参加されました。



DMAT(災害医療派遣チーム)活動報告



DMATチームリーダー
外科部長 尾嶋 仁



災害発生時に救命医療を提供できるように日頃から訓練しています。

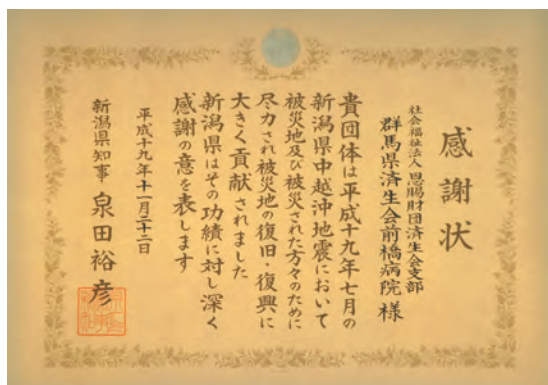


群馬県総合防災訓練

群馬県済生会前橋病院にDMAT(災害医療派遣チーム)が発足して約1年が経とうとしています。DMATとは、大規模な災害発生時にいち早く現場に駆けつけ、救命医療を提供する医療チームのことです。災害発生時には、厚生労働省の広域災害医療情報センターより各隊員の携帯電話にDMATチームの待機要請や派遣要請が送られてきます。これまでの当院におけるDMATの活動内容を報告します。

最初に災害発生による待機要請が発令されたのは、2007年3月25日の能登半島地震でした。石川県能登半島の沖の日本海で発生したマグニチュード6.9の地震で、石川県、富山県を中心に279人もの負傷者が出ました。我々は、いつでも派遣できるように病院に待機し医療器材の準備を行いました。最終的には石川県隣接県のDMATに派遣要請

が発令され待機要請解除後に我々も解散となりました。次に待機要請が発令されたのは、2007年7月16日、14時56分に発生した新潟県中越沖地震でした。新潟県上中越沖を震源地とするマグニチュード6.8の地震で、死者14名、重軽傷者1987名の被害が出ました。群馬県は新潟県に隣接していることから10時36分に待機要請が、14時16分に派遣要請が発令されました。14時56分(派遣要請から36分後)、我々DMATは現地に向け出動し、厚生刈羽郡総合病院にて、計42のDMATチームと共に医療活動を行いました。訓練としては、平成19年度群馬県総合防災訓練に参加し、防災関係機関(消防、警察、自衛隊、医療機関など)との密接な連携・協力のもとに総合的な防災訓練を行いました。今回は、前橋市に震度6強の直下型地震が発生したとの設定で傷病者のトリアージ(傷病の緊急度・重症度により処置等の優先順位を決めること)および救命治療の訓練を行いました。以上、我々DMATチームは、災害発生時に救命医療を提供できるように日頃から訓練しております。



感謝状をいただきました

バザーの収益を寄付させていただきました



当院では、毎年5月に地域の皆様との交流を目的に「ふれあいデー」を開催しておりますが、昨年よりバザーを取り入れその収益金を社会福祉に役立てることとしました。この度地元東地区の社会福祉協議会に対し、この収益金を寄付させていただきました。バザーの品を提供した当院職員と、地域の皆様のご協力で得られた収益を地域の社会福祉に役立てていただければ幸いです。

お正月の病院食について + その他行事食について



栄養科長
中島 昌俊

病院でお正月を迎える患者さんは「せっかくのお正月なのに」という気持ちで入院していると思います。当院の暮れからお正月の病院食は恒例の年越しそばから始まり 1 月 1 日はおせち料理をお出ししています。

数年前までは元旦の朝食は雑煮を提供していましたが、毎年全国でお餅を喉に詰まらせお亡くなりになる高齢者の方がいますので、当院では雑煮の代わりに白玉団子を使用し雑煮風すまし汁を提供しています。また、他の行事食は写真の通りです。



お正月のお献立（朝食）

おせち料理は

朝 食 お赤飯 雑煮風清まし汁 伊達巻
紅白板（かまぼこ）田作り 昆布巻き
紅白なます
昼 食 ご飯 松風焼き 筑前煮 香の物
飲み物 果物
夕 食 ご飯 味噌汁 魚照り焼き 胡麻和え
芋きんとん



節分のお献立



ひな祭りのお献立



お花見のお献立



七五三のお献立

院内コンサート開催報告

平成 2007 年 11 月 10 日（土）秋の恒例行事『院内コンサート』を開催いたしました。これはバイオリニストの大谷康子さんとピアニストの小山さゆりさんが日頃病氣と闘っている患者さんに勇気と元気を差し上げたい、とボランティアで演奏していただいているもので今年で 9 回目となります。毎年楽しみにしている方も多く、会場を埋め尽くした来場者は、美しい音色に聴き入ったり、童謡「もみじ」を合唱したり楽しいひと時を過ごしていただけたと思います。



外 来 医 師 診 療 表

午前的一般外来

2007/6～

	内 科			循環器内科		外 科	小児科	整形外科	眼 科	泌尿器科
	総合外来(初診)		一般	一般	睡眠障害外来					
	9:00～10:30	10:30～12:00								
月	野 中	福 田	佐倉・菅 (血)(腎)	池 田		西 田 尾 嶋	大島(一般) 鈴木(循)	後 藤 高 橋	榎 鹿嶋	鈴木 (群大教授)
火	宮 脇	交替制	樋口・河合・神田 (消)(腎)(消)	福 田 広 井		細 内 加 藤	大島(一般)	中 島 金 子	岸 (群大教授) 鹿嶋	
水	吉 田	吉 田 池 田	樋口・宮脇・吉永 (消)(血)(消)	福 田 宮 崎		西 田 神 山	大島(一般) 鈴木(循)	中 島 久保井	鹿嶋	
木	河 合 佐 倉	初 見	家崎(消)・真下(腎) 高田(血)・石塚(呼)	福 田 池 田		細 内 荻原博	大島(一般)	高 橋・金 子 倉 (群大教授) リハビリ(第1,3)	鹿嶋	
金	吉 永	家 崎	宮脇・矢田 (血)(消)	池 田 第1,2,3 福 田 第4,5	福 田 第1,2,3	西 田 尾 嶋	大島(一般) 鈴木(循)	後 藤 久保井	鹿嶋	
土	交替制	交替制	星野(血)・交替制 内分泌(第1,3)荻原貴之 呼吸器(第1,3,5)岡山	福 田 池 田		交替制	第1:石井(循) 第3:下山(循) 第5:石井(循)	第1:中島・久保井 第3:後藤・高橋 第5:後藤・高橋	群大	

午後の特殊外来

*セカンドオピニオン外来のお問合わせ・お申込みは地域連携室(027-252-1751)までご連絡ください。
*総合外来の担当医師は変更することがあります。

	内 科・循環器内科・心臓血管外科		小 児 科	
	心臓血管外科外来	石原・石山	喘息・アレルギー・慢性疾患	大島
月	内分泌外来	荻原貴之	循環器	鈴木
火	血液外来	宮脇・佐倉・高田 初見・星野	喘息・アレルギー・慢性疾患	大島
			〃 (第1)	荒川
水	心臓血管外科外来	石原・石山	循環器	鈴木
	ペースメーカー外来	池田(第1, 3, 5) 宮崎(第2, 4)		
	呼吸器外来	牧 元		
木	肝臓外来	高木(第1, 2, 4)・矢田・神田	乳児健診(第1, 3)	大島
	内分泌外来	荻原貴之	予防接種	大島
金	腎臓外来	河合・菅・真下	喘息・アレルギー・慢性疾患	大島
	呼吸器外来	岡山(第2, 4)	循環器	鈴木

午前的一般外来の受付時間は午前8時30分～午前10時30分です。(診察開始は9時です。)午後の特殊外来は完全予約制です。
休診日は、日曜日、祝祭日、年末年始、第2・4土曜日です。

患者様へ ●さわやか検診のお問合わせは 医事課窓口 ☎027-252-6011 内線1101
●人間ドックのご予約は 検診センター ☎027-252-1959(直通)
医療機関様 ●初診(診療・検査・入院等)のご紹介は 地域連携室 ☎027-252-1751(直通) } までご連絡ください。
●CT・MRIのご予約は 放射線科 ☎027-252-6011 内線1502
介護関連 ●前橋市高齢者福祉サービスのご相談は 前橋市在宅介護支援センターあずま荘 ☎027-255-1511
●介護保険サービスに関するご相談は 居宅介護支援事業所あずま荘 }

病院案内図



上信バス時刻表案内

行先	中央 前橋駅行	前橋駅行	高崎駅行
7	×06	46	×05 37
8	26		07 46
9	03	43	26
10	23		06 46
11	43	03	26
12	33		16
13		23	06 56
14		13	46
15	53	03	36
16		33	16 56
17	54	13	36
18	33		16 56
19		13 48	33
20	×29		×11

×印は日祝日は運休

交通のご案内

- 新前橋駅よりタクシーで10分
- 前橋駅よりバスで20分
- 高崎駅よりバスで40分

●病棟直通電話●

《循環器内科・心臓血管外科病棟》
TEL.027-252-1759

ホームページもご覧ください。

<http://www.maebashi.saiseikai.or.jp>